

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |            |
|---------|-----------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2970700205      |            |            |
| 法人名     | 社会福祉法人 三寿福祉会    |            |            |
| 事業所名    | グループホーム 友徳苑     |            |            |
| 所在地     | 奈良県五條市住川町1426番地 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成21年10月17日     | 評価結果市町村受理日 | 平成22年1月26日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念に掲げている「家庭的な雰囲気の中」と言う一つに館内全体が木をふんだんに使用し、木のぬくもり、自然を身体全体で感じられる事も高齢者にとって安心感の一つです。その様な環境のもと、私達職員は一緒に生活を共にする家族の一員である事と、また喜怒哀楽と一緒に感じる事を理解しながら、個々のケアにあたっています。「できないこと」「わからないこと」に目を向けず、「できること、できそうなこと」「わかること、わかりそうなこと」に視線を置き、個々の利用者の持っている隠された力を発揮できる環境を提供しています。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kohyo-nara.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                           |  |  |
|-------|---------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 奈良県国民健康保険団体連合会            |  |  |
| 所在地   | 奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成21年11月10日               |  |  |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、自然木の温もりをふんだんに活かしたゆとりのある建物構造とし、隣接するグループホームと共に取り囲む広場と前景の森は、自然の豊かさをもたらしています。入居者の入居期間が長く、またスタッフも定着傾向があり、「馴染みの関係」と「蓄積されたケアの質と力」が、うまくかみあって、安心して、それぞれの入居者の個性が発揮された生活が営まれています。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>該当するものに印 | 項目 |   | 取り組みの成果<br>該当するものに印 |
|----|--|---------------------|----|---|---------------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | 1. ほぼ全ての利用者の        | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | 1. ほぼ全ての家族と         |
|    |  | 2. 利用者の2/3くらいが      |    |   | 2. 家族の2/3くらいと       |
|    |  | 3. 利用者の1/3くらいが      |    |   | 3. 家族の1/3くらいと       |
|    |  | 4. ほとんど掴んでいない       |    |   | 4. ほとんどできていない       |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | 1. 毎日ある             | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | 1. ほぼ毎日のように         |
|    |  | 2. 数日に1回程度ある        |    |   | 2. 数日に1回程度          |
|    |  | 3. たまにある            |    |   | 3. たまに              |
|    |  | 4. ほとんどない           |    |   | 4. ほとんどない           |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | 1. ほぼ全ての利用者が        | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | 1. 大いに増えている         |
|    |  | 2. 利用者の2/3くらいが      |    |   | 2. 少しずつ増えている        |
|    |  | 3. 利用者の1/3くらいが      |    |   | 3. あまり増えていない        |
|    |  | 4. ほとんどいない          |    |   | 4. 全くない             |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | 1. ほぼ全ての利用者が        | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | 1. ほぼ全ての職員が         |
|    |  | 2. 利用者の2/3くらいが      |    |   | 2. 職員の2/3くらいが       |
|    |  | 3. 利用者の1/3くらいが      |    |   | 3. 職員の1/3くらいが       |
|    |  | 4. ほとんどいない          |    |   | 4. ほとんどいない          |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | 1. ほぼ全ての利用者が        | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | 1. ほぼ全ての利用者が        |
|    |  | 2. 利用者の2/3くらいが      |    |   | 2. 利用者の2/3くらいが      |
|    |  | 3. 利用者の1/3くらいが      |    |   | 3. 利用者の1/3くらいが      |
|    |  | 4. ほとんどいない          |    |   | 4. ほとんどいない          |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | 1. ほぼ全ての利用者が        | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | 1. ほぼ全ての家族等が        |
|    |  | 2. 利用者の2/3くらいが      |    |   | 2. 家族等の2/3くらいが      |
|    |  | 3. 利用者の1/3くらいが      |    |   | 3. 家族等の1/3くらいが      |
|    |  | 4. ほとんどいない          |    |   | 4. ほとんどできていない       |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が        |    |   |                     |
|    |  | 2. 利用者の2/3くらいが      |    |   |                     |
|    |  | 3. 利用者の1/3くらいが      |    |   |                     |
|    |  | 4. ほとんどいない          |    |   |                     |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

| 自己              | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |   |
|-----------------|-----|---|--|---|---|
|                 |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>理念に基づく運営</b> |     |   |  |   |   |
| 1               | (1) | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                           | ホーム内に理念を掲げており、職員全員で読み上げ、共有と実践を行っている。                       | 地域との結びつきを重視した理念をつくり、定期的な会議や、毎朝、始業時にスタッフ全員で唱和するなどし、理念の共有化と実践に努められています。                           |   |
| 2               | (2) | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                           | 馴染みの関係を保持しながらも、外出の機会を通じて、住み慣れた地域との交流を持っている。                | 市街地へ買い物などに出かけて、旧知の住民や市民との交流の機会を持つよう努められています。  |   |
| 3               |     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                         | 運営推進会議を通じて、報告を行っているが、自発的な行動はない。今後は地域の方への浸透を深める活動を行っていききたい。 |   |   |
| 4               | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | 2ヶ月に1度開催し、家族様の声、利用者の声を聞かせていただき、サービス向上及び、現状の改善策へと取り組んでいる。   | 会議には、連合自治会会長や地元自治会会長が参加し、ホームからは、外部者の訪問を要請されています。また、家族からは受診支援の要望やターミナルケアについての質問が出され、対応を検討されています。 | 運営推進会議での話し合いは、貴重な意見や提案が含まれています。これらをケアに反映するためには、関係者間の情報の共有は不可欠です。会議録は、その手段として有効ですから、詳細かつ理解しやすいように記録することが望まれます。 |
| 5               | (4) | 市町村との連携<br>市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | 運営推進会議を通じて、アドバイスを頂き、日頃から協力関係にある。                           | 入居に関する相談等、折に触れて市役所を訪れ、意見交換の機会を持つようにされています。  |   |
| 6               | (5) | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 実践している。研修を通じて職員の再認識の確認を行っている。                              | 職員は研修を通じ、身体拘束をしないケアの重要性を認識し、ベルの取り付けや玄関を施錠すること等、入居者の行動を制限しない取り組みを実践されています。                       |   |
| 7               |     | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 実践している。研修を通じて職員の再認識の確認を行っている。                              |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----|-----|---|---|--|--|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 8  |     | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修会や資料配布する事により、職員への理解を深めているが、理解度は希薄である。必要性が生じた場合でも、迅速に対応できるように職員の資質の底上げが必要である。                |  |  |
| 9  |     | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時の際、また家族の声には十分な説明を行い、理解をして頂いている。  |  |  |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 口頭での意見、要望はその都度対応させて頂き、また苦情相談窓口を設置する事により、家族の声が反映されるように取り組んでいる。                                 | 入居者ごとに担当者をつけ、入居者や家族が意見、要望を出しやすい関係づくりをされています。また、出された意見、要望を検討し、反映されています。 | 重要事項説明書に、苦情担当者の氏名の掲載と外部の関係機関の苦情相談窓口の紹介も取り入れられてはいかがでしょうか。 |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月1回は会議を開催し、意見質問できる機会を設けている。また緊急を要する場合は、迅速な対応を行い、職員の意見や提案を反映させている。                            | 月1回の会議の他、日々の打ち合わせや意見交換の機会にスタッフの提案を聞くようにされています。                         |  |
| 12 |     | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員個々の勤務条件を反映し、職員自身からのやりがいや向上心が見られた場合、その実績や給与面に反映できるよう努めている。                                   |  |  |
| 13 |     | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている           | 研修年間行事を立て、毎月1回グループホームでの研修を行っている。また他ユニットへの研修を行い、認知症ケアに取り組んでいる。力量や向上心のある職員については、随時外部研修を受講させている。 |  |  |
| 14 |     | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 3ヶ月に1回を目途に、五條市グループホーム連絡会を開催し、意見交換及び今後のグループホームについての検討会を行っている。                                  |  |  |

| 自己                       | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|--------------------------|-----|---|--|---|-------------------|
|                          |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |   |  |   |                   |
| 15                       |     | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回面会時には、利用者が不安にならない様声掛けには細心の注意を払いながら、利用者の現状把握に努めている。また困っていること、不安なことについては、サービス導入段階でアセスメントを立て、軽減できるように行っている。 |   |                   |
| 16                       |     | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 上記同様に加え、家族の思いや要望を十分理解し、一緒に利用者を支える信頼関係を築きながら、サービスの導入を図っている。   |   |                   |
| 17                       |     | 初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 現状はグループホーム入所希望者の方として対応しているため、特に他のサービスの必要性と支援策の話合いは持っていない。  |   |                   |
| 18                       |     | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 「できないこと」「わからないこと」と決めつけず、利用者の「できること」「わかること」の能力をひきだせる場を提供し、一緒に暮らしている家族の様な関係を築きあげ、利用者の暮らしてきた延長を提供している。        |   |                   |
| 19                       |     | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族と利用者が疎遠にならないように、職員と家族と一緒に支えていく思いを理解しながら、家族との信頼関係を構築している。   |   |                   |
| 20                       | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 馴染みの方との再会する機会は少ないが、グループホーム内での馴染みの関係が構築されているため、その関係の維持及び親密を深めて頂ける様に支援している。                                  | 買い物や行事で市街地に出かけて、旧知の人や馴染みの店の人と会う機会作りに努められています。 |                   |
| 21                       |     | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 孤独を感じさせない環境に配慮しつつも、自分の時間も大切に過ごして頂ける様、側面的ケアを持って対応している。  |   |                   |

| 自己                              | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|---------------------------------|------|---|---|---|---|
|                                 |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                       |
| 22                              |      | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | グループホーム退所後併設施設を利用されている利用者については、訪問している。今後は他施設へ入所された利用者についても関係性を持続していきたい。                   |   |   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |   |   |
| 23                              | (9)  | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | その人らしい生活の支援を念頭におき、ケアプランに沿ったサービス提供を行っているが、職員本位の考え方が混合しているケアが見られる。利用者本位を再検討する必要がある。         | 家族や入居者へのアセスメントとともに、日常的には、個々の行動や態度、言葉掛けなどから、把握されています。                                  | 職員本位な面もあると認識されていますので、本人本位に検討される事を期待します。 |
| 24                              |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 情報収集を行い、支援しているが、まだ不十分なところもあり、家族の協力が必要な面もある。   |   |   |
| 25                              |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 各利用者の生活リズムを把握し、自分らしい時間を過ごして頂いているが、意欲向上や残存能力を発揮する場面が少ないように思う。日常生活の中での創意工夫が必要である。           |   |   |
| 26                              | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 3ヶ月をペースにケアプランの見直しを行っているが、職員本位の意見やアイデアになっている傾向である。利用者、家族等の関わりを踏まえた中で利用者本位のプラン作成に取り組んでいきたい。 | 3ヵ月ごとの関係者によるカンファレンスで、本人・家族の意向やかかりつけ医からの情報をもとに見直しをされています。また、状態の変化によっては、その都度見直しをされています。 |   |
| 27                              |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | どんな些細な事項でも見逃すことなく、利用者の主訴として捉え、ケアに活かしている。  |   |   |
| 28                              |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 併設施設で行われる毎月1回の音楽療法には参加しているが、それ以外は取り組むことはできていない。今後の検討課題としなければならない。                         |   |   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |   |
|----|------|--|--|--|---|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域資源と地域で暮らしているということは理解しているが、立地場所も含め、利用者が心身の力を発揮して頂いていないのが現状である。こちらから出向いて行くことも検討し、実行していきたい。   |  |   |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 長年かかりつけ医として安心されている利用者の気持ちと安心の医療を尊重しながら、家族を通じて、職員もかかりつけ医との関係を構築している。                          | かかりつけ医の受診は原則として、家族の対応とされていますが、家族の都合によっては受診支援をされ、受診時の記録をとり、連携に活用されています。 | 通院や夜間の急変時、家族の都合によっては、ホームで通院支援をされていますが、家族には、十分周知されていないように思いますので、周知させる取り組みを期待します。 |
| 31 |      | 看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 併設施設の看護師に随時相談し、専門的分野での助言をもらい、安心した暮らしへとつなげている。  |  |   |
| 32 |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院された場合には、利用者の状態及び様子を伺いに面会に行く。またその際看護師等との情報交換や退院後の支援策や援助法を相談しながら、利用者が混乱無く戻って来られるように連携を図っている。 |  |   |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 利用者、家族との十分な話し合いまでには至っていないが、利用者、家族が望まれている終末期に添えられるように対応を行い、また職員も同じ生活を送っている一員として取り組んでいきたい。     | 現状では、可能な限りホームで生活を継続し、重度化した場合は入院という対応をされています。                           | 家族にとっても終末期への対応は極めて大きな問題でありますので、関係者で相談され、指針をもたれるよう期待します。                         |
| 34 |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 防災訓練を通じて、応急手当の方法を教わってはいるが、定期的な訓練は行っていない。今後は実践訓練を年間課題に取り入れ、職員全体の周知徹底を図っていきたい。                 |  |   |
| 35 | (13) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年2回消防団員の指導の下、日中・夜間を想定し防災訓練を行っている。また運営推進会議の場で地域住民の方の協力を得られる様に説明と理解を促し、体制を整えている。               | 定期的な消防訓練に取り組まれています。また、災害時の備蓄も隣接する本部施設で確保されています。                        |   |

| 自己                           | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|------------------------------|------|---|---|--|---|
|                              |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |   |
| 36                           | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 信頼関係を構築した上で、利用者の馴染みのある言葉掛け、及び人生の先輩として尊厳ある声掛けを行っている。                           | 個々の入居者の尊厳に意を払ったことば掛けをされています。また、トイレへの誘導や介助も意思を尊重して、プライバシーにも配慮した対応をされています。               |   |
| 37                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 常に利用者が選択できる事項を提供し、自己決定できる環境を整えている。  |  |   |
| 38                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の日課や自分らしい時間を過ごすことを一番に考え、どの場面でも、本人の選択できる工夫と支援を図っている。                         |  |   |
| 39                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 男性女性問わず、愛着のある衣類や、また家族からの情報と相談しながら、本人に合った身だしなみやおしゃれを支援し、心の刺激につなげている。           |  |   |
| 40                           | (15) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 現状は併設施設厨房から食事を搬入しているが、準備や下膳は利用者がしてくださっている。また、食事は職員と一緒に会話をしながら食事の時間を過ごして頂いている。 | 誕生会等の行事では、入居者と買い物に行き一緒に作られています。状態に合わせた調理形態を工夫し、個々のペースにあわせて、スタッフとともに食卓を囲んで、食事を楽しまれています。 | 日常の副食は、隣接施設で調理されていますが、地域密着型サービスとして、日頃から入居者の好みを踏まえたメニューを工夫したり、調理を共に行う等の取り組みをされることを期待します。 |
| 41                           |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 併設施設の栄養士管理の下、バランスの摂れた食事を提供している。その日の気分により選んでいただける飲み物を提供し、1日の必要な水分量を摂取して頂いている。  |  |   |
| 42                           |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | その人に応じた口腔ケアを行い、常に口腔内の清潔保持に努めている。  |  |   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 日中はできる限り布パンツを使用し、利用者の排泄パターンを把握している。利用者の自尊心を傷つけないよう、おむつを使用する場合は利用者が納得して頂ける声掛けを行っている。          | 入居者の排泄パターンを把握し、入居者の様子を敏感に察知し、さりげなくトイレ誘導や介助をされています。 |                   |
| 44 |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 個々のチェック表で毎日の排便確認を行っている。水分摂取量と軽運動を取り込み、自然排便を促している。便秘気味の方には、主治医の指示のもと、服薬で対応し便秘からくる体調不良を回避している。 |  |                   |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 各利用者の要望と時間帯を聴き、いつでも入浴できる体制を作っている。  | 入浴は、入居者の希望や状態に合わせて、夜間帯や毎日入浴できる体制を作られています。          |                   |
| 46 |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日中は活動的に過ごして頂きながらも、利用者の休息時間や安眠につながる支援を行っている。  |  |                   |
| 47 |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 紛失や誤薬防止のため、利用者の薬は職員が管理している。また服用時は声掛けと確認を行い、常に、症状の変化に留意しながら、健康的に過ごして頂ける様に支援している。              |  |                   |
| 48 |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 各利用者の日課や責任感を持って頂けるよう日常生活の中での役割があり、日々達成感へとつながっている。  |  |                   |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日常的に外出支援を行い、近隣スーパーへ出かけている。また数班に分けドライブに出かけ、心身のリフレッシュを図って頂いている。                                | 広場での体操や散歩、買い物やドライブを楽しむ等の機会をもたれています。                |                   |



| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お金を所持することで安心されることも十分理解しているが、周辺症状の悪化につながるリスクもあるため、小遣い金は総括して、施設金庫で保管している。また小額の場合は家族の了解を得て利用者自身が所持している。 |   |                   |
| 51 |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 各利用者のできる能力を見出し、側面的支援で対応をしている。また毎月1回は家族様宛てに近況報告を手紙に記している。   |   |                   |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 建物全体が木をふんだんに使用しており、利用者の心を和ませる環境になっている。また季節を感じて頂ける草花や壁画を装飾し、安心した生活を保持している。                            | 「自然木」をふんだんに使った、ゆったりとした広いホール、廊下、浴室、居室が構成されています。季節を感じさせる草花や飾りつけがあり、居心地のよい共用空間となっています。 |                   |
| 53 |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共用スペースに和室を設けており、利用者個々のペースで過ごして頂いている。和室は掘りごたつになっており、座位、立位時の動作も安楽に行える。                                 |   |                   |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入所前には本人、家族からの住み慣れた環境を聴き、入所時には、本人が混乱なく過ごせる空間を創っている。また家族が宿泊できるスペースの確保も十分で、家族も自由に使用できる事を話している。          | ワープロや書籍、アルバム、習字の道具、写真や飾り物、家具など、好みのもの、慣れ親しんだものを持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫をされています。           |                   |
| 55 |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 利用者の目線に合わせ「わかること」「できること」を環境面からも支援している。   |   |                   |